

# 平成29年(2017年)4月の結果 (二人以上の世帯)

## 消費支出

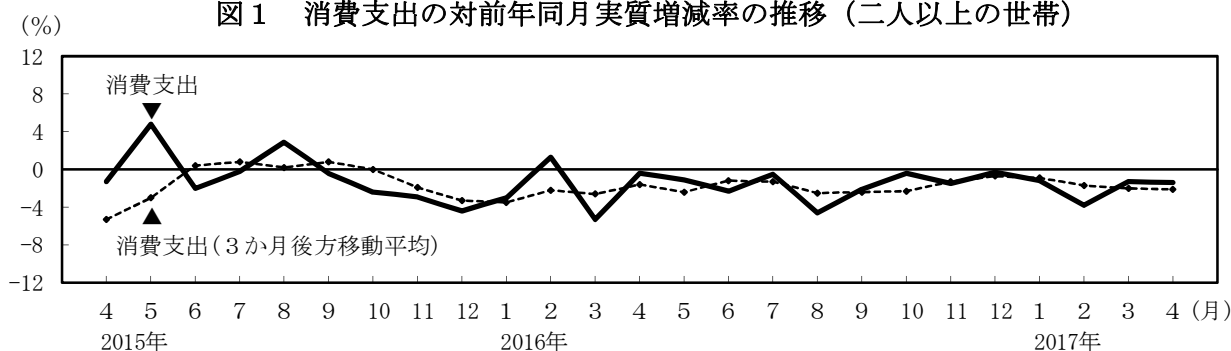
・消費支出は、1世帯当たり 295,929 円  
 前年同月比 実質 1.4%の減少 名目 0.9%の減少  
 前月比(季節調整値) 実質 0.5%の増加

・消費支出(除く住居等)は、1世帯当たり 255,340 円  
 前年同月比 実質 1.3%の減少 名目 0.8%の減少  
 前月比(季節調整値) 実質 3.5%の増加

「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数(持家の帰属家賃を除く総合)を用いた。以下同じ。

## 1 消費支出の推移

図1 消費支出の対前年同月実質増減率の推移(二人以上の世帯)

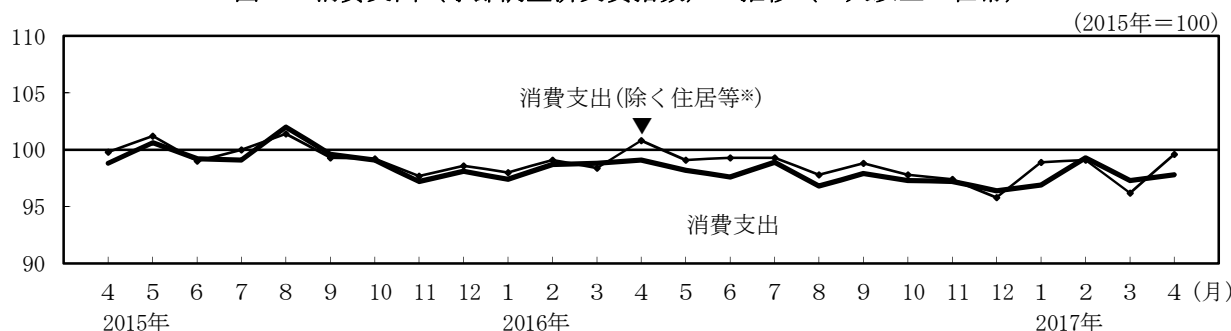


	2016年												2017年			
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月			
消費支出	-0.4	-1.1	-2.3	-0.5	-4.6	-2.1	-0.4	-1.5	-0.3	-1.2	-3.8	-1.3	-1.4			
消費支出(除く住居等)	0.4	-0.9	-0.4	-0.8	-3.1	-0.6	-0.1	-1.9	-1.5	0.3	-3.7	-1.9	-1.3			
(参考)3か月後方移動平均																
消費支出	-1.6	-2.4	-1.2	-1.3	-2.5	-2.4	-2.3	-1.3	-0.7	-0.9	-1.7	-2.0	-2.1			
消費支出(除く住居等)	-0.8	-1.7	-0.3	-0.8	-1.5	-1.5	-1.3	-0.9	-1.2	-1.0	-1.7	-1.7	-2.2			

注 3か月後方移動平均は、さう勢的な動向を見るため、当月を含む直近3か月間の金額を平均した値である。

ここでは対前年同月実質増減率を表章している。

図2 消費支出(季節調整済実質指数)の推移(二人以上の世帯)



	2016年												2017年			
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月			
消費支出	99.1	98.2	97.6	98.9	96.8	97.9	97.3	97.2	96.4	96.9	99.3	97.3	97.8			
対前月変化率(%)	0.3	-0.9	-0.6	1.3	-2.1	1.1	-0.6	-0.1	-0.8	0.5	2.5	-2.0	0.5			
消費支出(除く住居等)	100.8	99.1	99.3	99.3	97.8	98.8	97.8	97.4	95.8	98.9	99.1	96.2	99.6			
対前月変化率(%)	2.4	-1.7	0.2	0.0	-1.5	1.0	-1.0	-0.4	-1.6	3.2	0.2	-2.9	3.5			

注1 季節調整の方法は、センサス局法(X-12-ARIMA)を用いた。

2 季節調整値は、毎年1月結果公表時に、過去に遡って改定している。

## 2 消費支出とその内訳

表1 消費支出の内訳（2017年4月 - 二人以上の世帯）

項目	金額 (円)	対前年同月増減率(%)		実質増減 率への 寄与度 (%)	摘要	備考
		名目	実質			
消費支出	295,929	-0.9	-1.4	-		14か月連続の実質減少
食料	70,979	0.2	-0.7	-0.17	<減少> 魚介類, 穀類など	9か月連続の実質減少
住居	16,098	12.2	12.1	0.58	<増加> 設備修繕・維持	2か月ぶりの実質増加
光熱・水道	23,725	1.7	0.8	0.06	<増加> 電気代, 他の光熱など	3か月ぶりの実質増加
家具・家事用品	8,977	5.7	6.7	0.19	<増加> 家庭用耐久財, 家事用消耗品など	2か月ぶりの実質増加
被服及び履物	11,639	1.6	1.7	0.07	<増加> シャツ・セーター類, 下着類など	2か月連続の実質増加
保健医療	12,454	-2.4	-2.6	-0.11	<減少> 保健医療サービス, 保健医療用品・器具	8か月連続の実質減少
交通・通信	38,295	-7.0	-7.3	-1.00	<減少> 自動車等関係費	2か月ぶりの実質減少
教育	21,125	-14.5	-15.1	-1.25	<減少> 授業料等, 教科書・学習参考教材	2か月連続の実質減少
教養娯楽	29,312	1.0	0.4	0.03	<増加> 教養娯楽サービス, 教養娯楽用品	2か月連続の実質増加
その他の消費支出	63,326	1.5	(1.0)	(0.21)	<増加> 交際費, 諸雑費	4か月ぶりの実質増加
消費支出 (除く住居等)	255,340	-0.8	-1.3	-		3か月連続の実質減少

：「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

注1 「摘要」欄は、消費支出の実質増減率への寄与度の大きい項目を掲載した。

2 「その他の消費支出」の（ ）内は、消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いて実質化した。

### 消費支出の実質増減率に寄与した主な中分類項目及び品目

中分類	実質寄与度	品目
<減少項目>		
自動車等関係費	[-1.21]	自動車購入, 自動車等関連用品
授業料等	[-1.16]	私立大学, 専修学校
魚介類	[-0.15]	さけ, いか
教養娯楽用耐久財	[-0.11]	テレビ, 楽器
<増加項目>		
設備修繕・維持	[0.68]	設備器具, 給排水関係工事費
交際費	[0.59]	贈与金
通信	[0.23]	移動電話通信料
諸雑費	[0.22]	葬儀関係費, 婚礼関係費

注1 主な中分類項目を寄与度順に掲載した。

2 交際費の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

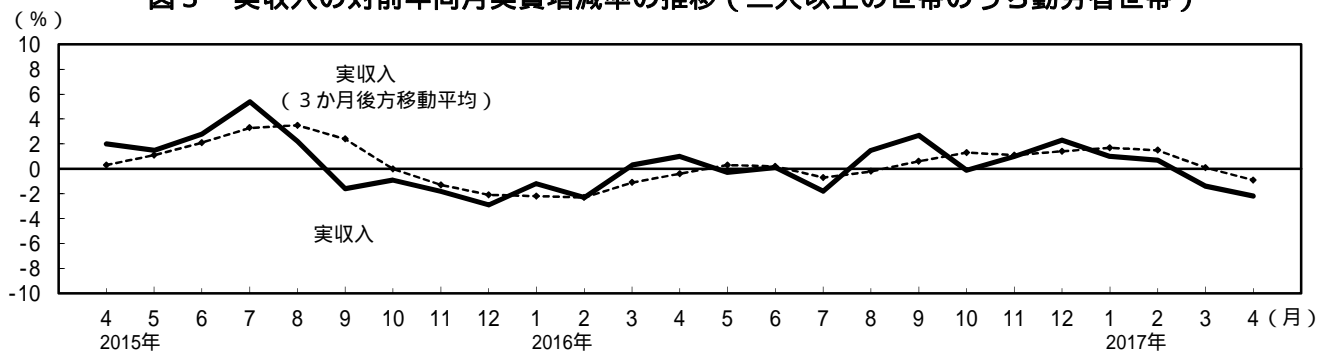
## 実 収 入

勤労者世帯の実収入は、1世帯当たり 472,047 円  
 前年同月比 実質 2.2%の減少 名目 1.7%の減少

### 3 勤労者世帯の収支

#### (1) 勤労者世帯の実収入の推移

図3 実収入の対前年同月実質増減率の推移(二人以上の世帯のうち勤労者世帯)



	2016年										2017年			
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	
実 収 入	1.0	-0.3	0.1	-1.8	1.5	2.7	-0.1	1.0	2.3	1.0	0.7	-1.4	-2.2	
(参考)3か月 後方移動平均	名 目	-0.4	0.1	-0.2	-1.1	-0.6	0.1	1.0	1.2	1.8	2.2	2.0	0.5	-0.5
	実 質	-0.4	0.3	0.2	-0.7	-0.2	0.6	1.3	1.1	1.4	1.7	1.5	0.1	-0.9

#### (2) 勤労者世帯の収支の内訳

表2 収支の内訳(2017年4月 - 二人以上の世帯のうち勤労者世帯)

項 目	金 額 (円)	対前年同月増減率(%)		実質増減 率への 寄与度 (%)	備 考
		名 目	実 質		
実 収 入	472,047	-1.7	-2.2	-	2か月連続の実質減少
世 帯 主 収 入	356,308	-2.5	-3.0	-2.25	6か月ぶりの実質減少
定 期 収 入	347,861	-1.8	-2.3	-1.69	6か月ぶりの実質減少
配 偶 者 の 収 入	54,652	-5.4	-5.9	-0.71	4か月連続の実質減少
他 の 世 帯 員 収 入	7,171	-17.5	-17.9	-0.32	2か月連続の実質減少
非 消 費 支 出	87,750	-4.6	-	-	2か月ぶりの減少
可 処 分 所 得	384,297	-1.0	-1.5	-	2か月連続の実質減少
消 費 支 出	329,949	-2.4	-2.9	-	2か月ぶりの実質減少
平均消費性向(%)		(前年同月)(ポイント差)			季節調整値でみると73.1%で、前月に比べ0.3ポイントの上昇となった。
	85.9	87.1	-1.2		

注1 「非消費支出」とは、税金や社会保険料など、世帯の自由にならない支出である。

「可処分所得」とは、実収入から非消費支出を差し引いた額で、いわゆる手取り収入のことである。

「平均消費性向」とは、可処分所得に対する消費支出の割合である。

2 実収入には、勤め先収入(世帯主収入、配偶者の収入及び他の世帯員収入)のほか、事業・内職収入、社会保障給付、財産収入などが含まれる。